2022年度事業報告書

（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

特定非営利活動法人フードバンク京都

1. 事業の方針

特定非営利活動法人フードバンク京都は2023年３月31日をもって第5期の事業年度を終了することが出来ました。無事に年度末を迎えることができましたのも皆さまの暖かいご支援によるものと深く感謝申し上げます。

コロナ禍でフードバンク京都の存在がクローズアップされ、支援の要請と同じくらい、ご寄付やボランティアのお申し出も増えてきました。

　活動は少しずつ大きくなっていますが、「もったいないからありがとうへ」の合言葉はそのままに、今年度取り組んだ重点課題の成果を報告いたします。

❖【食品の回収量の増加に対応した体制を作ります】について

フードドライブは、今年度からコープきぬがさ、コープにしがも、コープいわくら、フレンドマート・G宇治市役所前店でも始まりました。特に、フレンドマート・G宇治市役所前店については、フードバンク京都に取材で訪れた立命館宇治高校の生徒さんが、取材を受けたスタッフの言葉に励まされて、自主的にアプローチされて始まりました。数カ月は高校生さんのプロジェクトとして行い、その後、フードバンク京都が引き継ぎました。

また、ご寄付いただく食品も増えてきました。災害備蓄品のご寄付はもちろん、メーカーさま、小売店さまよりのご寄付、さらには個人さまからのご寄付も増えました。昨年度からパートナー契約を結んだ株式会社塚腰運送さまのご協力により、事務所に引き取れないような大量の食品もお引き受けできるようになりました。

　このように引取量が増えたことから、増加する緊急支援の要請に応えられるだけでなく、新しく連携した子ども食堂やフードパントリー、行政等の行う要支援者向けイベント（京都市「ひとり親女性のための居場所つながるスペース」、「パパカフェ」、京丹後社会福祉協議会「フードパントリー」)への食品の提供も行うことができました。

新事務所（西京区樫原平田町）は、4月より倉庫として使用を開始し、7月には正式に事務所を移転しました。コロナ禍で宿泊業に打撃を受け一時的に私たちがご支援していた方が、食品を並べる棚を寄付してくださったり、ボランティアの皆さんが掃除をしてくださったりして、無事に移転を終えました。すでに、新事務所もいっぱいになり、うれしい悲鳴をあげているところです。

❖【寄付金の増収を目指します】について

2022年度は、個人、団体より５万円を超える寄付を11回いただくことができました。また、農水省令和３年度フードバンク支援緊急対策事業により、配送のガソリン代等をお支払いできたことから、その一部をご寄付くださった方もあり、ご寄付の総額は100万を超えました。

企業サポーターの勧誘に力を入れたいと考えていましたが、企業からのご寄付は、助成金と同様、使いみちが限定されていたり、報告書作成などの義務が生じることもあり、事務手続きが増える可能性もあります。

ですので、始めにご紹介したような純粋なご厚意が集まっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

❖【専従者の雇用を目指します】について

専従者の雇用費が出せる助成金には採択されませんでした。

ただ、「京都市生活困窮者支援団体への活動支援事業」と「京都市フードバンク団体による食品ロス削減に資する取組支援助成金」により、2022年度は、事務所の家賃を全額助成金で賄うことができました。

そのため40名ほどの会費（月5万ほど）を人件費にあてることができ、10月より、週3回3時間（14時から17時）、専従者を雇用できました。専従者は、前事務局担当者にお願いすることができたので、事務所での応対、アソート、仕分け、配送の補助をスムーズに行ってもらうことができました。

❖【無理のない配送、引取業務の体制作りを進めます】について

有り難いことに、ボランティアを希望される方は、農作業、仕分け、配送ともに増えています。募集に、LINE公式アカウントを利用することで、ボランティア希望の方への対応を理事で分担できるようになり、より迅速な対応が可能となりました。

フードドライブの回収を定期的にしてくださる配送ボランティアさんも、不定期な緊急支援を手伝ってくださる配送ボランティアさんも、どちらも少しずつではありますが、確実に仲間が増えていて、頼もしいです。

また、これまでは電話で聞き取っていたため、時間もかかり、担当者への負担が大きかった行政等からの支援要請については、HP内に要請フォームを作成し、内容がメールで届くようにしました。このことで、聞き取りの時間を短縮するだけでなく、対応を分担することも可能となりました。

どうしても一部の担当者に負担がかかってしまうこともありますが、今後も、情報を共有し、できるだけ作業を分担できるやり方を考えていきたいと思います。

❖【自主農園での設備の充実をはかります】について

ボランティアさんのお力で、材料費だけで、農作業小屋の修繕ができました。とてもきれいで使いやすくなりました。また、京都府共同募金会からの助成を受け、仮設トイレの設置ができることになりました。

今年度の収穫は、約970キロでした。支援食品に野菜を入れることで、インスタントに偏りがちな支援がより健康的な内容となり、野菜の彩りは気持ちの癒やしの一助となってくれていると思います。

具体的な成果（数量等）は、以下、「Ⅱ　事業実施に関する事項」で報告いたします。

Ⅱ　事業実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

（１）社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体等への食品提供事業

　　　母子支援施設、児童養護施設、自立支援ホーム、子ども食堂の他、弁当や食品配布などで困窮者への支援活動を行っている団体への食品の提供を行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支援先（入居・利用者数） | 支援回数（回） | 食品提供量（㎏） |
| 母子生活支援施設　３ヶ所（入居者・利用者数人１７３人、施設外登録者約８０人ほど） | １５０回 | ７，６６０ｋｇ |
| 児童養護施設　２ヶ所（入居者数８０人） | １００回 | １，６５７ｋｇ |
| 更生保護施設 1ヶ所（入居者数２０人） | ４４回 | ９３９ｋｇ |
| 支援活動団体　５ヶ所（利用者数２９７人） | ５１回 | ２，７７６ｋｇ |
| こども食堂 １１ヶ所（利用者数５６０人） | １１４回 | ３，９７４ｋｇ |
| 合　計（入居・利用者数合計１，０８６人） | ４５９回 | １６，９９５ｋｇ |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数　 | ４５９回（毎月　第２・４日曜、第１月曜、第２・４火曜、第３水曜、第２木曜ほか） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都市、宇治市、亀岡市、向日市の各施設・団体（母子施設３ヶ所、児童養護施設２ヶ所、更生保護施設１ヶ所、支援活動団体５ヶ所、子ども食堂１１ヶ所、合計２２ヶ所） |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ５００人　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 上記施設・団体の入居者・利用者（約１２００人） |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約２５，２００人 |

（２）行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食品を手配する緊急支援事業

　　　福祉課や生活支援センターなどから、困窮状態に陥った市民への支援要請に応えて、できるだけ迅速に緊急支援食品を届けた。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支援先 | 支援回数（回） | 食品提供量（㎏） |
| 京都府内 | ５１１回 | １１，１０９ｋｇ |
| 合　計 | ５１１回 | １１，１０９ｋｇ |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数 | ５１１回（不定期） |
| （Ｂ）事業の実施場所 | 京都市、宇治市、向日市、八幡市、木津川市、城陽市、大山崎町、綾部市、亀岡市、宮津市、京丹後市の行政・支援機関 |
| （Ｃ）従事者の人数 | 延べ　約５００人　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 行政・相談機関等が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　 | 延べ　約６００人 |

（３）個人、団体、企業からの食品の引き取り事業

　　　個人の方からは、ドライ食品・お米・野菜・飲料・菓子等さまざまな食品をご郵送やお持込によって、直接ご寄付いただいたが、お米など重量品のご寄付の場合は、引き取りにお伺いした。

　　　また、フードドライブを通じてもたくさんのご寄付をいただくことができた。フードドライブ品、農産物の生産者、食品生産企業、小売りスーパーからの食品のご寄付、学校法人や企業などの災害用備蓄品のご寄付については、下記の通り、引き取りを行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 食品提供者・団体など（敬称を省く） |
| フードドライブ（定期） | 株式会社光洋株式会社ダイエー株式会社ファミリーマート株式会社平和堂（アル・プラザ、フレンドマート）木下物産京都生活協同組合社会福祉法人　くわの実つむぎ会 |
| フードドライブ（企画） | 一般社団法人　京都文化・芸術・スポーツ振興会株式会社京都リビング新聞社株式会社塚腰運送亀岡市社会福祉協議会川口酒造株式会社京都インターナショナルスクール京都市環境政策局資源循環推進課京都葵ライオンズクラブ京都薫風ライオンズクラブ京都紫明ライオンズクラブ京都パレスライオンズクラブ京都ロイヤルライオンズクラブ京都府医師婦人会理事会国際ソロプチミスト京都ジブラルタ生命保険株式会社城陽市まちづくり活性部第一学院高校同志社国際学院初等部日本新薬株式会社パークハイアット京都立命館宇治高等学校ローム株式会社 |
| 取り扱い商品（定期・パン） | 生活協同組合コープ自然派京都（パン）コストコホールセールジャパン株式会社　京都八幡倉庫Yohei Miyaguchi（パン） |
| 取り扱い商品（定期・野菜） | 中村くらしを見直す会 |
| 取り扱い商品（定期・こんにゃく） | 矢野食品株式会社 |
| 取り扱い商品（不定期） | 芦田農園明石農園アミタホールディングス株式会社嵐山子ども食堂いなかぶらり藤澤重徳株式会社エフ・ジェイホテルズ 　　　　　　　ホテルフォルツァ京都四条河原町株式会社オクペイント株式会社京ほっ株式会社クリニコ株式会社坂の途中株式会社テモテ株式会社松尾商店株式会社美濃与株式会社麦の穂カルゲン製薬株式会社岸本農園京都夜回りの会近畿生乳販売農業協同組合連合会コプロ株式会社晴鴨楼ディオニー株式会社日本酪農協同株式会社農業生産法人　田吾作ホテルフォルツァ宮川町芸妓組合京都市学校給食協会京都市教育委員会京都市立池田小学校山崎農園有限会社谷口鉄工お食事処としぶん |
| 備蓄品等 | アイフル株式会社株式会社小原工業株式会社ジャックス株式会社たけびし亀岡市社会福祉協議会京都インターナショナルスクール京阪ホールディング株式会社京都マラソン実行委員会事務局京都三菱自動車販売株式会社金光教　八木教会浄念寺高田クリニック宝酒造伏見工場内 京滋 フード連合初音学区自主防災会パソナ・パナソニックビジネスサービス株式会社ブライトンコーポレーションみつ葉法律事務所吉川病院来迎寺ローム株式会社 |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数　 | 約２５０回（毎月　第２・４日曜、第１月曜、第２・４火曜、毎水曜、毎木曜ほか） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都府内 |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ２５０人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設・団体の入居者・利用者、行政・機関が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約２５,８００人 |

（４）支援農産物の確保のための自主農園での生産事業

　　　無償で貸していただいている農園で、有機農法の専門家の指導を受けながら、より安全な農産物を生産した。

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施日時　 | 約８０日（毎週月曜日、隔週日曜日） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都府京都市西京区大原野 |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ　約６００人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設・団体の入居者・利用者、行政・機関が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約１０,０００人 |

（５）その他の活動（講演等）

　　　５月　第４期通常総会

　　　５月　ローターアクトクラブ30周年会に来賓として参加（挨拶）

　　　６月　ダイエー本社と京都市役所資源循環推進課と面談

　　　６月　立命館宇治高校三年生の取材応対

　　　６月　大学生協のfirst year programの大学生の取材応対

　　　６月　第一学園高校　講演

　　　６月　国際通信社　雑誌記事のための取材応対

　　　７月　2022年度第１回理事会

　　　７月　京都大学経済学研究科修士課程の留学生12名と教授、助教授の取材応対

　　　７月　京都外国語大学国際貢献学部グローバルスタディーズ学科３年生２人の

　　　　　　取材応対

　　　８月　京都外国語大学学生の取材応対

　　　９月　向日市高齢福祉課主催の講演会での講演

　　１０月　2022年度第２回理事会

　　１０月　立命館大学食マネジメント学部4回生１名の取材応対

１１月　龍谷大学食品農業システム学科４回生１名の取材応対

１２月　モーニングロータリークラブでの講演

１２月　華頂大学３回生１名の取材応対

１２月　嵐山子ども食堂での講演

１２月　大阪YMCAインターナショナルスクール高校生２名の取材応対

１１月〜１２月　スモールファーマーズカレッジの方の取材応対

１月　2022年度第３回理事会

　１月　ライオンズクラブさんの新春5クラブ合同例会に来賓として参加（挨拶）

　１月　大阪市で、二ヵ所で、多世代交流型地域食堂をされている方の取材応対

　２月　2022年度第４回理事会

　２月〜3月　京都府立大学の研究者の取材応対

　３月　京都インターナショナルスクール（小学４年生）講演

　３月　京都医師婦人会理事会にてフードバンク京都の紹介

（６）受けた助成等

・令和４年度「京都市フードバンク団体による食品ロス削減に資する取組支援助成金」277,000円

・農水省令和３年度フードバンク支援緊急対策事業（第1期）296,459円

・農水省令和３年度フードバンク支援緊急対策事業（第２期）325,046円

・京都市生活困窮者支援団体への活動支援事業992,368円

・京都生協社会貢献活動助成金250,000円

・京都府共同募金会453,000円

・農林水産省「フードバンク活動強化緊急対策事業」専門家派遣

・京都府令和4年度物価高騰対策緊急生活支援事業　支援ボックス50個